

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4		4	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの人数や活動により、部屋を分けている 人数が多い時の和室が狭く感じる
	2	職員の配置数は適切であるか	7		1	<ul style="list-style-type: none"> 職員が休むと補充を入れていただける 余分に1名配置されることにより、支援や業務に余裕ができた
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 死角や段差が多く感じる 子ども達が目で見て分かる環境づくりを意識している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7		1	<ul style="list-style-type: none"> 活動によって必要なものを出すようにしている 清掃担当の職員がいることにより、細やかなところの掃除もしているようになった
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 毎日正職は振り返りと打ち合わせをしている パートさんと直接話す時間が少なく、LINEを使って共有している 正職の業務量を視覚化してみんなで把握し、業務を回せるよう心掛けている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		1	<ul style="list-style-type: none"> 年に1度評価表の提出をお願いしている 評価表を職員に共有し、改善が必要などころは話し合いをして改善するよう努めている
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> 結果を集計して公開している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4	1	<ul style="list-style-type: none"> 第三者の方が存在するのか分からない
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> 外部講師をお呼びし、継続した研修(事例検討や基礎知識など)を行っている。 パート職員も参加できるよう声かけをしている。 研修で学んだことは参加できなかったしよくいんにもフィードバックすることを心掛けている
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> 関わりのある職員から意見を聞き、担当職員がまとめている 職員会議で共有をして、アセスメントを基に支援計画を立てている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7		1	<ul style="list-style-type: none"> 様子を記入する様式のため、主観になりがち 研修で記入の仕方を学んでいる
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> 児発管が設定している 職員や保護者にも説明をし、誰が見ても同じ支援ができるような計画づくりを心掛けている
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8			<ul style="list-style-type: none"> 目標達成のために、必要であれば事前に場面設定をし、職員に共有をしている
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			<ul style="list-style-type: none"> 担当職員が立てた案を、職員会議で打ち合わせをし、正職で確認・修正している
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> 利用児が平等に活動や行事に参加できるようにしている 月間予定を立てた後も、子どもにとって必要な活動があれば、その都度組み替えている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7		1	<ul style="list-style-type: none"> 個々のねらいや発達具合に応じて、活動を組み立てている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 前日までに、パート職員もふまえ、活動のねらい・担当の子どもなどを伝えている。 前日には正職で次回の支援の打ち合わせを行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> 正職でその日の振り返りを夕方に行っている。 打ち合わせで出た意見があれば、パート職員にも知らせて欲しい
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> 記録は誰が見てもわかるように、具体的に記入をしている 記録の書き方の研修も受けていきたい 	

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1		・半年ごとのモニタリングの他、見直しが必要な場合はその都度モニタリングを行い、支援計画を修正している
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1		・基本的に児発管が参加している
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	1		・連携を行っている子と、あまり行っていない子の差が激しい
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4	2	2	・保護者から情報を得ることが多い ・直接連絡を取り合うことは現在おこなっていない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	2	3	・主治医との連絡体制が整えられていない ・直接連絡を取ることは少ないように思う。保護者や子育て支援課を通じて連携をとっている
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	2	3	・未満児がほとんどなので、保育園を併用している子がほとんどいない
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	2	3	・現在対象児なし
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1		・年に2回程、市の児童発達支援センターのSTさんを招いて研修を受けている
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	1	2	・保育園交流はコロナの関係で現在おこなっていない ・同法人の、子育て支援センターの利用者とは、園庭を共有して遊ぶことがある
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	2	4	・現在参加していない
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			・送迎時やHUG、電話等で伝え合っている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	2	5	・プログラムとしてはおこなっていない
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	2		・契約時に施設長より説明をしている
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7	1		・面談時に支援計画を提示しながら説明をおこない、サインをいただいている
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			・半年ごとに面談をおこなっている。 ・面談以外にも、送迎時や電話などで、いつでも相談に応じている ・HUGに悩みをコメントする保護者がいるので、返事を書いたり直接伝えたりしている ・すぐに答えられないことは1度保留にさせていただき、職員で考えてから返答をしている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	1	5	・コロナのため未実施
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		・施設での判断が難しい時には、理事長に相談をしている
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1		・月に1度、おたよりを作成し、配付している
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	1		・パソコンにロックをかけている ・書類や写真の取り扱いを確認する声掛けを定期的におこなっている
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		・文面で残す ・1対1で話す機会を設ける ・一方的にならないように聴く

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	5	・コロナのため未実施
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4		4	・マニュアルが機能していない、周知されていない ・火災・地震・不審者のみの訓練
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			・月に1度火災又は地震の避難訓練を行っている。 ・年に1度不審者訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	1	1	・初回面談時(契約時)にシートにて確認
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	2	・現在対象児なし ・医師の指示ではなく、保護者から情報を聞き、保護者判断になっている
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1		・その都度記録し、月に1度会議にて共有している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	8		・虐待防止研修を年に1度全職員受けている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	1	1	・契約時に書面にて説明をし、同意を得ている ・どのような場合に具体的に身体拘束を行うかの、組織的な目安が十分ではない。